

臨床研究に関するお知らせ(院内掲示用)

肝細胞癌の診断・治療に関する後ろ向き研究へのご協力をお願い

当愛媛県立中央病院・消化器病センターでは、肝細胞癌を正確に診断し、よりよい治療成績につなげることを目標として、画像診断や治療内容についてさまざまな臨床的検討を行っております。このような研究活動の基礎となるのが、実際に当院を受診された患者さんの診療録（カルテ）の情報です。患者さんの診療録に記録されている各種の臨床情報、検査結果、治療内容と経過などの医学情報は、治療成績解析のために大変貴重なものです。そこで、当科では、当病院で診断・治療された患者さんを対象として、診療録に記録されている情報を解析し、医学の発展に貢献したいと考えています。

1. 研究課題名 肝臓癌治療におけるALBI gradeの有用性の確認と治療内容の妥当性の検討

2. 対象

2001年1月1日から2021年12月31日の間に、当病院にて肝細胞癌と診断され、治療を受けた患者さんの診療録（内科・外科・放射線科）を研究の対象といたします。

3. 方法

診療記録を閲覧しながら、患者さんの個人情報排除して、病歴、検査所見、治療内容、臨床経過などの医学情報の解析を実施して、既存の採血で肝臓の能力を分類できるALBI gradeという手法を用いて診断成績・治療成績の向上につながる要素を検討します。

4. 研究期間

臨床研究審査委員会承認後～2022年12月31日

5. 研究における倫理的配慮について

本研究は、診療録調査だけの研究ですので、患者さんの生命・健康に直接影響を及ぼさず、患者さんから採取した試料を実験的に用いることはありません。個人情報が特定されることはありません。研究成果は、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせていただくことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除いたします。また、研究対象に該当するか否かにより、実際の診療内容に影響はすることはありませんし、研究にご協力いただけない場合でも診療上の不利益を受けることはありません。

もし、このような診療録情報の利用にご承諾いただけない患者さんは、お手数ですが、下記の連絡先までお願いいたします。

連絡先：愛媛県立中央病院 消化器内科 平岡淳

（電話（代表）：089-947-1111、FAX：089-943-4136）